



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 表示灯株式会社 上場取引所 東
コード番号 7368 URL http://www.hyojito.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳毛 孝裕
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 永井 東一 TEL 052 (307) 6633
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,354	3.7	412	44.5	455	31.6	286	35.0
2023年3月期第3四半期	7,091	0.4	285	△43.8	346	△33.6	212	△37.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	60.70	—
2023年3月期第3四半期	44.97	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,522	7,301	54.0
2023年3月期	13,762	7,292	53.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,301百万円 2023年3月期 7,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,573	6.2	550	—	606	△2.4	413	401.7	87.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,720,245株	2023年3月期	4,720,245株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	79株	2023年3月期	45株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	4,720,198株	2023年3月期3Q	4,720,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信開示後に開示し、当社ホームページにも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部足踏みも見られましたが、雇用・所得環境の改善の下、個人消費は持ち直し、企業景況感も改善するなど緩やかに回復しました。先行きについては、引き続き緩やかな回復が継続することが期待されますが、海外における金融引き締めや中国経済の減速懸念など、景気の下振れのリスクも予見されます。また、地政学リスクの長期化・深刻化に伴うサプライチェーンの混乱や金融資本市場の変動などに十分注意する必要があります。

広告業界においては、経済産業省が本年1月に発表した「特定サービス産業動態統計調査」によれば、インターネット広告、屋外広告や交通広告の売上高は足元前年同月を上回って推移しています。一方でテレビ等の4媒体広告は前年同月を下回る状況が続いています。

このような状況の中、当社は今年度全社スローガン「表示灯Reborn!!」を掲げ、災害警報システム「NAVIAアラート」事業をスタートさせ、既存ビジネスにおいては、人流やインパウンド来訪者数の回復を意識し、広告媒体の更新などによる価値向上やWEBビジネスの拡大による収益力向上を図り、取引拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上収益は7,354百万円（前年同期比3.7%増）となりました。営業利益は412百万円（同44.5%増）となり、経常利益は455百万円（同31.6%増）、四半期純利益は286百万円（同35.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

<ナビタ事業>

ナビタ事業においては、既存ナビタの媒体の更新を進めるとともに、WEB商材の販売強化や新規媒体開発による広告媒体数の増加、電子契約化などによるデジタル化を進めた結果、売上収益は6,005百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は864百万円（同14.1%増）となりました。

<アド・プロモーション事業>

広告需要の回復の兆しが見られ、媒体広告の拡販やマス媒体の強化及び自治体ビジネスさらにWEB商材の開発に取り組んでまいりました。上述の通り、屋外広告や交通広告の回復を受け、売上収益は443百万円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

<サイン事業>

自治体・病院などにおける営業の強化や既存取引先との取引拡大を進めました。また2023年4月に三菱電機株式会社より譲り受けた「番号案内表示システム」については2023年11月に山口県美祢市においてサイン事業での売上実績を計上いたしました。一方、新たな商材である、災害警報システム「NAVIAアラート」事業で当該のシステムの開発コストが先行した結果、売上収益は906百万円（前年同期比29.8%増）、セグメント損失は232百万円（前年同四半期はセグメント損失118百万円）となりました。なお、「NAVIAアラート」に関連する費用は当第3四半期累計期間においては137百万円（前年同四半期では11百万円）となっております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は13,522百万円（前年度末比239百万円減）となりました。

資産、負債及び純資産の状況につきましては、以下のとおりであります。

①資産

流動資産につきましては、前払費用が増加する一方、配当金や仕入債務の支払による現金及び預金の減少や売上債権の減少等により、8,073百万円（同143百万円減）となりました。

固定資産につきましては、ナビタ事業における設備投資が増加するとともに、減価償却による有形・無形固定資産の減少により、5,448百万円（同95百万円減）となりました。

②負債

流動負債につきましては、契約負債が増加する一方、仕入債務の減少などにより、5,990百万円（同270百万円減）となりました。

固定負債につきましては、退職給付引当金の増加などにより、230百万円（同22百万円増）となりました。

③純資産

剰余金の配当を283百万円実施した一方、四半期純利益286百万円を計上したことから純資産は7,301百万円（同8百万円増）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,584,111	6,552,026
受取手形	57,178	59,374
電子記録債権	11,400	—
売掛金及び契約資産	919,702	648,117
棚卸資産	99,140	122,203
前渡金	45,868	71,345
前払費用	458,463	576,470
その他	50,927	50,779
貸倒引当金	△9,069	△6,463
流動資産合計	8,217,721	8,073,855
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	835,025	827,968
構築物（純額）	6,276	5,749
機械及び装置（純額）	5	1
車両運搬具（純額）	6,033	4,526
工具、器具及び備品（純額）	1,673,396	1,633,778
土地	1,710,972	1,710,972
リース資産（純額）	10,967	8,931
建設仮勘定	31,102	43,780
有形固定資産合計	4,273,780	4,235,708
無形固定資産		
ソフトウェア	256,459	229,750
その他	10,716	10,716
無形固定資産合計	267,176	240,466
投資その他の資産		
投資有価証券	67,997	76,319
出資金	625	605
長期貸付金	290	1,078
破産更生債権等	83,554	83,870
長期前払費用	156,325	209,737
保険積立金	280,622	230,622
繰延税金資産	304,306	301,915
その他	193,399	152,383
貸倒引当金	△83,554	△83,870
投資その他の資産合計	1,003,565	972,662
固定資産合計	5,544,522	5,448,837
資産合計	13,762,244	13,522,693

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	880,463	632,623
リース債務	4,006	4,006
未払金	197,665	249,265
未払費用	268,826	231,606
未払法人税等	121,716	73,802
未払消費税等	75,619	95,369
契約負債	4,518,239	4,550,620
前受金	3,131	6,274
預り金	25,138	59,106
賞与引当金	165,005	86,843
資産除去債務	1,111	1,111
その他	278	—
流動負債合計	6,261,203	5,990,629
固定負債		
リース債務	9,077	6,837
退職給付引当金	91,764	112,034
役員退職慰労引当金	74,860	78,910
資産除去債務	14,670	14,670
その他	18,469	18,469
固定負債合計	208,842	230,922
負債合計	6,470,046	6,221,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,761	923,761
資本剰余金	770,533	770,533
利益剰余金	5,570,048	5,573,366
自己株式	△85	△135
株主資本合計	7,264,257	7,267,524
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,940	33,616
評価・換算差額等合計	27,940	33,616
純資産合計	7,292,198	7,301,141
負債純資産合計	13,762,244	13,522,693

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上収益	7,091,286	7,354,878
売上原価	3,276,661	3,392,198
売上総利益	3,814,625	3,962,680
販売費及び一般管理費	3,528,966	3,549,961
営業利益	285,658	412,719
営業外収益		
受取利息	87	717
受取配当金	952	1,194
受取家賃	35,291	43,065
保険解約返戻金	20,387	366
その他	11,118	8,212
営業外収益合計	67,838	53,556
営業外費用		
賃貸費用	6,619	9,577
その他	747	1,180
営業外費用合計	7,366	10,758
経常利益	346,130	455,517
特別損失		
固定資産除却損	12,102	14,721
その他	—	781
特別損失合計	12,102	15,502
税引前四半期純利益	334,028	440,014
法人税等	121,780	153,485
四半期純利益	212,247	286,529

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ナビタ事業	アド・プロモ ーション事業	サイン事業	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	6,001,561	391,529	698,196	7,091,286	—	7,091,286
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,001,561	391,529	698,196	7,091,286	—	7,091,286
セグメント利益又は損失(△)	757,292	△2,784	△118,168	636,339	△350,680	285,658

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△350,680千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ナビタ事業	アド・プロモ ーション事業	サイン事業	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	6,005,186	443,195	906,496	7,354,878	—	7,354,878
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,005,186	443,195	906,496	7,354,878	—	7,354,878
セグメント利益又は損失(△)	864,189	28,610	△232,586	660,213	△247,494	412,719

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△247,494千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。